

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット クリアブルー 排卵日予測テスト

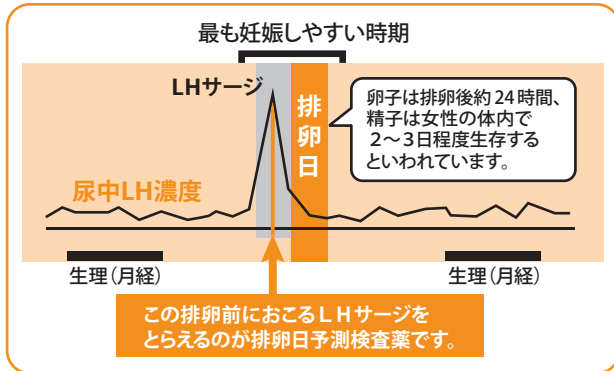
排卵日を事前に把握することの重要性

妊娠とは卵子と精子が互いに生存している時期に出会うことから始まります。女性の体内での精子の生存期間が約2～3日であるのに対し、卵子は排卵後、約24時間しか生存しないといわれています。従って、排卵の前又は直後の性交が最も妊娠しやすく、妊娠を望む上で排卵日を事前に把握することはとても大切なことです。

排卵日がわかるしくみ(測定原理)

黄体形成ホルモン(LH)は、女性ホルモン的一种で、普段から少量分泌されています。生理(月経)周期の中頃に短期間ですが、このLHの分泌量が急激に増加します。このLHの大量分泌をLHサージといい、LHサージから約40時間以内に排卵がおこるといわれています。「クリアブルー排卵日予測テスト」は尿中に分泌されるLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

この検査薬は、LHサージを検出するもので、排卵を確認するわけではありません。6周期検査し、適切な時期に性交しても妊娠しない場合は、医師の診療を受けてください。



【使用上の注意】

⊗ してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されており、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、**避妊の目的で用いてはいけません。**(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、**避妊目的には使用できません。**性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)



相談すること

- ① 次の人は、使用前に医師に相談すること。
 - ・不妊治療を受けている人
 - ・通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
 - ・生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人
- ② 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師、薬剤師に相談すること。
- ③ この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師、薬剤師に相談すること。

検査時期に関する注意

- ・1日1回検査する場合：1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。
- ・1日2回検査する場合：1日2回(例えば朝夕)検査してください。毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。

廃棄に関する注意

- ・廃棄の際は尿の付着したもの、あるいはプラスチックとして各自自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

【使用目的】

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

【使用方法】

・検査のタイミング

ご自分の生理(月経)周期から換算して、次の生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

<検査のタイミング>

月経周期	≤21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
検査開始日※	5日目	5	6	7	8	9	10	11	12	13
月経周期	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査開始日※	14日目	15	16	17	18	19	20	21	22	23

※月経開始日から数えて何日目から検査するかを示します。

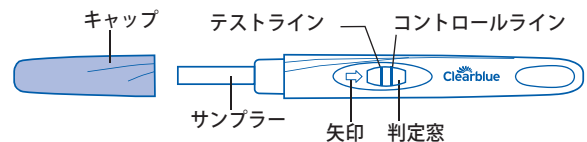
- ・生理(月経)周期が不規則な方は最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。
- ・検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。(過去に検査してLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

検査のしかた

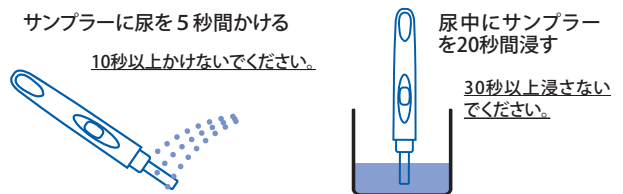
① 検査手順(検査のしかた)

1) アルミ袋より、テストスティックを取り出し、キャップを取り外します。

- ・テストスティック各部の名称(※テストラインとコントロールラインは尿をかけた後に現れます。)



2) サンプラーを下に向け、尿を5秒間かけるか、清浄な容器に採取した尿中にサンプラーを20秒間浸してください。このとき、プラスチック部分は尿に浸さないでください。サンプラーを検体に浸した後は、サンプラーを上に向けてください。



3) サンプラーを下に向けたままキャップをかぶせ、判定窓が見えるようにして平らな場所に置く。

- ・コントロールラインが現れない場合は正しく検査ができていません。
- ・尿をサンプラーに添加した後、判定窓に尿や青色粒子が移動するのが見えますが、3分後にコントロールラインを確認してから判定してください。

4) 検査開始から3分後に判定窓を見る。(10分以降の結果を判定に用いないでください。)

裏面もお読みください。

② 判定のしかた

テストスティックの判定窓を観察し、判定窓のテストライン(矢印に近いライン)とコントロールライン(矢印から遠いライン)の青色の有無及び濃淡で以下のように判定してください。初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるしです。

判定方法	判定
<p>陽性</p> <p>テストラインの青色の濃さがコントロールラインと同等かコントロールラインより濃い場合</p>	<p>LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。</p>
<p>陰性</p> <p>テストラインの青色の濃さがコントロールラインより薄いか、テストラインが認められない場合</p>	<p>LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。</p>
<p>判定保留(再検査)</p> <p>コントロールラインが認められない場合</p>	<p>検査は無効です。別のテストスティックを用いて、再検査してください。この場合、サンプルにしみこませた尿が少なかったこと等が考えられます。</p>

「判定上の注意」

検体をサンプラーに添加した後、判定窓に、検体及び青色ラテックス粒子が移動するのが認められますが、3分後コントロールラインを確認してから判定してください。

【使用に際して、次のことに注意してください】

(採尿に関する注意)

- にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- 検査前 4 時間程度はできるだけ排尿しないでください。
- 検査前に、水分を過剰にとらないでください。
- 検査前に多量の発汗を伴う運動は避けてください。

(検査手順に関する注意)

- 採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わってることがあります。
- 操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

(判定に関する注意)

① 検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

② 検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師、薬剤師に相談してください。通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③ 検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④ 検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師と相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

- LH等のホルモンを含む不妊治療薬を投与されている場合は、LHサージでなくても結果が陽性となることがあります。

【検査結果】

検査結果を記入してみましょう。

	検査日	検査時間	検査結果	メモ
1日目			陽性・陰性	
2日目			陽性・陰性	
3日目			陽性・陰性	
4日目			陽性・陰性	
5日目			陽性・陰性	
6日目			陽性・陰性	
7日目			陽性・陰性	
8日目			陽性・陰性	
9日目			陽性・陰性	
10日目			陽性・陰性	
11日目			陽性・陰性	
12日目			陽性・陰性	

排卵から約2週間後に、生理(月経)は始まります。LHサージをとるために、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始すると、生理(月経)予定にずれが生じない典型的な例では、検査開始から約3日目に初めて陽性が現れます。(検査結果には個人差があります。また、あくまでも典型的な例であり、異常がなくてもずれる場合があります。)

【キットの内容及び成分・分量・検出感度】

(内容)

- 7回用 テストスティック 7本
- 12回用 テストスティック 12本

(成分) テストスティック 1本中(抗体量として)

- 抗β-LHマウスモノクローナル抗体結合青色ラテックス粒子 0.168 ~ 0.304 μg
- 抗α-LHマウスモノクローナル抗体 0.672 ~ 0.768 μg

(検出感度)

40mIU/mL

【保管及び取扱い上の注意】

- ① 小児の手の届かない所に保管すること。
- ② 直射日光を避け、湿気の少ない所に保管すること(1~30℃)。
- ③ 冷蔵庫内に保管しないこと。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- ④ 品質を保持するために、他の容器に入れ替えないこと。
- ⑤ 使用直前に開封すること。
- ⑥ 使用期限の過ぎたものは使用しないこと。

【保管方法・有効期間】

室温保存 36カ月間(使用期限は外箱に記載)

【包装単位】

7回用、12回用

【お問い合わせ先】

オムロンお客様サービスセンター
〒515-8503 三重県松阪市久保町 1855-370
フリーダイヤル 0120-30-6606
受付時間 9:00 ~ 19:00

【販売元】

オムロンヘルスケア株式会社

【選任製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

アリアー メディカル株式会社
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 357

【外国特例承認取得者】

SPD Swiss Precision Diagnostics GmbH(スイス連邦)